

突然目の前がピカッと光って、ドーンと音がした。
その瞬間、爆風と黒い煙が体に当たり、地面に叩き
つけられて意識を失った

画／木村秀男 寄贈／木村正

1945年（昭和20年）8月6日 爆心地から1,300m 天満町

